

東京都健康長寿医療センター に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年5月13日

「高齢者 triple-negative 乳癌の病理学的特徴と予後の関係についての研究」を実施しています。

この研究は、主任研究機関である東邦大学医学部倫理委員会、当センター研究倫理委員会の審査により承認を得て実施しています。また、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

東京都健康長寿医療センターはこの研究の共同研究機関の一つであり、研究の概要を下記に示します。

| | |
|-----------|---|
| 倫理審査承認番号 | |
| 研究課題名 | 高齢者 triple-negative 乳癌の病理学的特徴と予後の関係についての研究 |
| 所属(診療科等) | 病理診断科 |
| 研究責任者(職名) | 新井富生(部長) |
| 研究実施期間 | 倫理委員会承認日～2023年3月31日 |
| 研究の意義、目的 | 乳癌の治療を選択するうえで重要な3つの検査(エストロゲン受容体発現、プロゲステロン受容体発現、HER2増幅)がいずれも陰性の乳癌(triple-negative 乳癌、以下 TN 乳癌)は、ホルモン療法、抗 HER2 抗体療法とも効果が期待できず、外科切除以外には化学療法の対象となります。しかし、高齢者(75歳以上) TN 乳癌に対して、副作用の強い化学療法を実施するか否かの判断基準がまだ確立されていません。この研究では、高齢者 TN 乳癌の臨床病理学的特徴を明らかにするとともに、治療法を選択するうえで有用なバイオマーカーを探索することを目的とした研究で、病態解明および治療選択に貢献すると考えられます。 |
| 対象となる患者さん | 2001年1月から2013年12月までの期間に東京都健康長寿医療センター(旧東京都老人医療センターを含む)で乳癌の診断で、手術を受けられた方 |

| | |
|--------------------------|--|
| 利用する診療記録／ 検体 | 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、転帰など／組織など |
| 東邦大学へ試料・情報 を提供する方法 | 郵送により提供します。 |
| 研究方法 | 過去の診療記録より上記の内容を収集し、高齢者（75歳以上）TN乳癌と閉経後非高齢者（74歳以下）TN乳癌の臨床的および病理組織学的所見について検討します。 |
| 共同研究機関名 (研究責任者氏名) | 主任研究機関及び責任者： 東邦大学医学部病理学病理学講座准教授 本間尚子 共同研究者： 東邦大学医学部病理学講座教授 三上哲夫 東邦大学医学部病院病理学講座教授 渋谷和俊 東邦大学医学部乳腺内分泌外科臨床教授 緒方秀昭 東京都健康長寿医療センター病理診断科部長 新井富生 愛知県立がんセンター乳腺科部医長 澤木正孝 横浜市立大学附属病院消化器・腫瘍外科助教 山田顕光 香川大学医学部腫瘍病理学教授 松田陽子 |
| 問い合わせ先 | 新井富生（東京都健康長寿医療センター・病理診断科） 電話：03（3964）1141(内線 2410) |

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分やご家族の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。